



平成23年1月期 第1四半期決算短信

平成22年6月14日

上場会社名 CHIグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3159 URL <http://www.chi-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (氏名) 小城 武彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務部長 (氏名) 森 孝司

TEL 03-5225-8787

四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日

配当支払開始予定日

未定

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第1四半期の連結業績(平成22年2月1日～平成22年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	39,873		1,592		1,534		827	
22年1月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年1月期第1四半期	13.76	
22年1月期第1四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年1月期第1四半期	77,453	28,199	35.5	457.44
22年1月期				

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 27,504百万円 22年1月期 百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年1月期					
23年1月期					
23年1月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期									
連結累計期間	67,500		410		340		20		0.33
通期	130,000		690		420		640		10.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年1月期第1四半期	60,128,085株	22年1月期	株
期末自己株式数	23年1月期第1四半期	244株	22年1月期	株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年1月期第1四半期	60,127,979株	22年1月期第1四半期	株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成22年2月1日～平成22年4月30日）のわが国経済は、企業収益については一部の業種で改善の兆しがみられるものの、雇用状況の悪化から生活防衛意識は引き続き高く、デフレの進行と相まって個人消費は依然として厳しい状況で推移しました。特に、出版・書店業界におきましては、平成21年の出版物の推定販売額が2兆円を割り込み、5年連続で減少するなど当社を取り巻く事業環境は年々厳しさを増しております。

このような状況のなかで、当社は「知は社会の礎である」という価値観を共有し、教育・学術機関、図書館、出版業界等と連携し、最良な知の生成・流通と知的な環境づくりにおいて、革新的な仕組みを創出、提供することにより、業界の活性化をリードし、日本の社会に貢献する企業集団となることを目指して、平成22年2月1日付けで、丸善株式会社と株式会社図書館流通センターの共同株式移転により、両社を完全子会社として新たにスタートいたしました。

第1四半期連結会計期間につきましては、親会社である大日本印刷株式会社との協業が順調に推移したほか、売上原価の改善や経費の削減に取り組んだ結果、売上高は398億73百万円、営業利益は15億92百万円、経常利益は15億34百万円となりました。また、子会社の本社移転費用や店舗撤退損を特別損失に計上し、さらに、法人税等調整額5億11百万円を計上したことなどから、四半期純利益は8億27百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は774億53百万円となりました。うち流動資産は553億63百万円、固定資産は220億90百万円であります。

流動資産の主な内容としていたしましては、現金及び預金168億66百万円、受取手形及び売掛金196億57百万円、商品及び製品168億46百万円であります。

固定資産の主な内容としていたしましては、有形固定資産112億42百万円、無形固定資産38億36百万円、投資その他の資産70億11百万円であります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は492億53百万円となりました。うち流動負債は428億75百万円、固定負債は63億78百万円であります。

流動負債の主な内容としていたしましては、支払手形及び買掛金231億56百万円、短期借入金130億5百万円であります。

固定負債の主な内容としていたしましては、長期借入金10億14百万円、退職給付引当金40億2百万円であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は281億99百万円となりました。なお、自己資本比率は35.5%、1株当たり純資産額は457.44円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は163億32百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、91億27百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、たな卸資産の減少および仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、5億69百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、55億70百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 業績予想について

平成23年1月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年2月1日付「CHIグループ株式会社の平成23年1月期の業績予想について」により公表した内容から変更はありませんが、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を新たに記載しております。

(2) 配当予想について

当社は、株主の皆様へ安定的な利益還元を果たすことは経営の最重要課題と考えており、財務状況や連結業績を総合的に勘案した上で、適正かつ安定的に配当を実施することを基本方針としております。

当期の配当予想につきましては未定としておりましたが、厳しさを増す出版流通業界における勝ち残りのためには、現在立ち上げを予定しているデジタル化関連事業への相応の先行投資が必要であると判断し、見送りとさせていただくことといたしました。当該新規事業の収益化や事業子会社同士の経営統合シナジーの早期発現等により、早期の配当実施を目指して努力する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、連結子会社の前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	16,866
受取手形及び売掛金	19,657
商品及び製品	16,846
仕掛品	640
原材料及び貯蔵品	90
その他	1,665
貸倒引当金	△405
流動資産合計	55,363
固定資産	
有形固定資産	11,242
無形固定資産	3,836
投資その他の資産	
投資有価証券	2,085
敷金及び保証金	3,900
その他	3,699
貸倒引当金	△2,673
投資その他の資産合計	7,011
固定資産合計	22,090
資産合計	77,453
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	23,156
短期借入金	13,005
1年内返済予定の長期借入金	370
未払法人税等	160
賞与引当金	224
返品調整引当金	361
ポイント引当金	323
その他	5,273
流動負債合計	42,875
固定負債	
長期借入金	1,014
退職給付引当金	4,002
その他	1,360
固定負債合計	6,378
負債合計	49,253

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成22年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	3,000
資本剰余金	8,482
利益剰余金	16,519
自己株式	△0
株主資本合計	28,002
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△497
評価・換算差額等合計	△497
少数株主持分	694
純資産合計	28,199
負債純資産合計	77,453

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	39,873
売上原価	31,258
売上総利益	8,614
販売費及び一般管理費	7,021
営業利益	1,592
営業外収益	
持分法による投資利益	53
不動産賃貸料	95
その他	31
営業外収益合計	181
営業外費用	
支払利息	51
不動産賃貸費用	61
その他	126
営業外費用合計	240
経常利益	1,534
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4
その他	0
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産除却損	20
店舗閉鎖損失	32
本社移転費用	33
その他	0
特別損失合計	87
税金等調整前四半期純利益	1,451
法人税、住民税及び事業税	87
法人税等調整額	511
法人税等合計	598
少数株主利益	25
四半期純利益	827

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		1,451
減価償却費		223
売上債権の増減額 (△は増加)		107
たな卸資産の増減額 (△は増加)		1,816
仕入債務の増減額 (△は減少)		5,220
その他		452
小計		9,272
利息及び配当金の受取額		1
利息の支払額		△54
法人税等の支払額		△93
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△211
無形固定資産の取得による支出		△498
敷金及び保証金の差入による支出		△186
敷金及び保証金の回収による収入		385
その他		△58
投資活動によるキャッシュ・フロー		△569
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)		△5,501
長期借入れによる収入		100
長期借入金の返済による支出		△125
その他		△43
財務活動によるキャッシュ・フロー		△5,570
現金及び現金同等物に係る換算差額		-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		2,986
現金及び現金同等物の期首残高		13,345
現金及び現金同等物の四半期末残高		16,332

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日）

当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金3,000百万円、資本剰余金は8,482百万円、利益剰余金は16,519百万円となっております。なお、発行済株式総数は60,128千株となっております。